

あつし塾長の

子のやる気 親の気づき

〇〇24



第2章・ゆとり教育世代の子育て

夏の風物詩である神社の宵の宮がこの時期続きます。私も幼いころから夏祭りの夜店が楽しみで、友達と境内の端から端まで心躍らせ歩いたものです。ところが最近、特にここ2、3年ででしょうか、お祭りの夜なのに、中学生も高校生も塾の授

無関心

業をさぼらなくなりました。確かに6月下旬から7月初めにかけてのこの時期は、定期テストの真ただただ中です。しかし、夜店の並ぶ非日常的な光景に、居ても立ってもいられなくなる、やんちゃな男の子やおちゃめな女の子たちが必ず何人かはいいたものです。今年たった一人だけ休みました。さほりもせず出席している残りの中学生たちを立派

仲間の欠席 気にならず

相手知ることに関係構築

るからあえて聞きませ活の基盤や背景に無関心よ」と失礼です。心では、言葉や態度を伝えたい。特に無駄を省かない不便な環境で、退屈をしのぐ工夫、寄り道、回りの経験を。その経験の積み重ねが、つらさを乗り越えるすべを教える。それ、興味関心の源となる想像力をはぐくむでしょう。子育てには手塩にかける時間が必要です。



by yoriko

(畑塾長)
畑塾長

だなどとは思いながら、ちょっと授業を中断して、教室から歩いてすぐの神社の境内に並ぶ夜店の話題を振ってみました。しかし、誰もソワソワしないのです。「〇〇君は何で休んだんだろう。塾に連絡はないけど」とクラスの全員に向かって話してみよう。すると最も親しい友達が「家の用事があるから」とポツリと答えました。「何の用事?」とさらに聞くと「さあ?」と。「気にならないうか」と聞くと「言いにくいこともありますが、子どもたちの生

違和感を覚えたので、このクラスの子もまたちに友達が塾を休んで何をしているのか関心があるかないか聞いてみました。5分の4は気にならないと答え、例え相手が親友でも何をしているか関心がないうと答えたのは3分の1もいません。私は塾の教員スタッフに「塾生の欠席遅刻の事実をさりりと受け、理由は親身に聞いてあげよう」といつも話しています。勉強のベースになるのは言葉の力です。言葉は人間関係が構築されて初めて相手の心に染み込みます。子どもたちの生

教育

ニュース なぜなに

をしていた力士18人と、力士を指導する立場の親方11人が、今月の名古屋場所が終わるまで謹慎(出場などをひかえること)に。部屋の中の力士が賭け事にかかわっていた親方は、身分を下げられる罰も受けました。



認められた力士と謹慎などの

「大学発」グルメ食品花盛り

果のすせの伸Rほ提 6開担性信し 個八田が

研

